

第 59 回 通常 総 会 議 事 録

東京都新宿区津久戸町 4 番 6 号
公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

日 時：平成 30 年 5 月 25 日（金） 15:30～17:20

場 所：東京都千代田区九段北 4-2-25 アルカディア市ヶ谷（私学会館）

1. 開 会

西垣専務理事が開会を宣言し、出席正会員は委任状とも 1,489 名であり、定款第 17 条に規定する、正会員総数 2,475 名の 2 分の 1 以上の出席を得ているので、本総会は成立する旨報告があった。

2. 出席役員

会長：宇治公隆、副会長：井上 晋、堤 忠彦、専務理事：西垣義彦、
常務理事：阿波野昌幸

理事：大石龍太郎、太田 誠、春日昭夫、岸本一藏、下村 匠、玉井真一、
手塚正道、西山峰広、前田晴人、宮川豊章、望月秀次、森 拓也、
山田真人、山村正人の各理事

監事：大西睦彦、河瀬日吉、西尾浩志

3. 宇治会長挨拶（要旨）

公益社団法人プレストレストコンクリート工学会は、1958年にプレストレストコンクリート技術協会として設立され、59回目の通常総会を迎えた。公益社団法人に移行して6年が経った。会の目的を「プレストレストコンクリートおよびコンクリート構造に関する学術と技術の進歩、ならびに会員の資質の向上と国際的な情報交流を図り、社会の安全と発展に寄与する。」とし、一層の会員の皆さまのご支援をお願いする。

少子高齢化が進むわが国のインフラ整備、維持管理・更新において、生産性の向上、長寿命化、防災・減災が求められており、プレストレストコンクリートの技術が持続可能な社会インフラに果たす役割は大きい。昨年、本工学会はPCサステナビリティ宣言を公表し、本日、その要約リーフレットを配布させていただいた。

本工学会の会員数は、平成30年3月末現在、個人正会員2,433名、法人正会員42名、賛助会員71名である。個人正会員は昨年に比べ17名の増加となった。個人正会員は平成16年の4,082名をピークに平成25年の2,360名まで減少の一途を辿ったが、

会員増加推進の取り組みにより、僅かながら増加に転じている。本工学会の活性化と発展のためには、多くの方に入会していただき、とくに大学、高専の先生方への働きかけが重要と考える。現在、会員の先生は全国に140名あまりでこの3年間に30名以上増えた。一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会は、各地域で大学・高専へのPC技術専門家派遣授業や現場見学会を通じて普及活動に取り組みされており、感謝申し上げます。PCのファンの裾野が広がっていくものと期待する。

本工学会の活動は、プレストレストコンクリートに関する技術規準類の発刊、会誌「プレストレストコンクリート」の年6回の発行、全国主要都市9箇所における「PC技術講習会」の開催、そして年次大会である「プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」の開催、ならびに技術者資格認定事業である。

技術規準類については、プレストレストコンクリートおよびその関連する技術の信頼と発展に向けて整備していく。現在、二つの規準改訂作業と二つのマニュアルの発刊準備を進めている。

今年のPC技術講習会は、「日本の誇れるPC技術」を総合テーマとして6月に開催する。シンポジウムは、11月8日（木）・9日（金）の2日間にわたり、松山市で開催する予定である。また、4年に一度のfib（国際構造コンクリート連合）コンGRESSが本年10月にオーストラリアのメルボルンで開催される。日本のPC技術、関連技術を世界に発信していく。

本工学会の資格制度として、プレストレストコンクリート技士とコンクリート構造診断士がある。専門性の高い技術者資格であり、平成27年1月に国土交通省制定の技術者資格として第1回登録簿に登録された。コンクリート構造物の点検・診断業務に活躍が期待され、インフラ構造物の安全性確保と長寿命化に貢献していく。

本日は、平成29年度の活動を総括する機会で、各議案について活発なご議論、ご審議を賜り、併せて議事の進行について、ご協力のほどをお願い申し上げます。

4. 議長選出

西垣専務理事から本総会の議長は定款第15条により、会長がこれに当たるとの説明があり、宇治会長を議長とした。

5. 議事録署名人の指名

議長発言にて、定款第19条の規定では、議事録署名人は、議長および議長が指名する出席者2名以上としている旨、説明があり、次の両氏が指名された。

井上 晋氏 堤 忠彦氏

6. 議 事

第1号議案 平成29年度事業報告

議長より堤副会長が指名され、本支配布の議案説明が行われた後、議場に諮った結果、原案どおり承認議決された。

第2号議案 平成29年度収支決算報告

議長より西垣専務理事が指名され、まず平成29年度収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、および財産目録に関し説明があった。

さらに、河瀬監事から監査の結果、何れも適正且つ妥当であった旨の監査報告、ならびに本決算報告について茂利公認会計士のご指導を受けたとの報告があり、議場に諮った結果、原案どおり承認議決された。

第3号議案 役員改選

議長より本工学会の役員の改選については、毎年約半数の改選が行われ、新任ならびに再任役員の選任については、総会の承認を要する旨の説明があった。

すなわち、本通常総会の終結をもって理事 阿波野昌幸、井上 晋、宇治公隆、岸本一藏、下村 匠、手塚正道、西垣義彦、深井 悟、前田晴人、宮川豊章、望月秀次、森 拓也、山村正人および監事河瀬日吉の任期が満了し、また理事 大石龍太郎氏より辞任の申し出があったため、次に示す表により理事および監事を選任したい旨を議場に諮った結果、満場一致で承認議決された。

なお、新任理事の丹野 弘氏は、辞任理事の大石龍太郎氏の後任であり、任期は残任期間となる。

新任・再任役員

理 事	丹 野	弘 (新任)
同	中 村	光 (新任)
同	八 木	恵 治 (新任)
同	阿波野	昌 幸 (再任)
同	井 上	晋 (再任)
同	宇 治	公 隆 (再任)
同	岸 本	一 藏 (再任)
同	下 村	匠 (再任)
同	手 塚	正 道 (再任)
同	西 垣	義 彦 (再任)
同	深 井	悟 (再任)
同	前 田	晴 人 (再任)
同	森	拓 也 (再任)
同	山 村	正 人 (再任)
監 事	河 瀬	日 吉 (再任)

継続役員

理 事	大 島	健 志
同	太 田	誠
同	春 日	昭 夫
同	玉 井	真 一
同	堤	忠 彦
同	西 山	峰 広
同	二 羽	淳一郎
同	睦 好	宏 史
同	山 田	真 人
監 事	大 西	睦 彦
同	西 尾	浩 志

辞任理事 大 石 龍太郎

議長発言にて、続いて行う第1号報告の平成30年度事業計画および第2号報告の平成30年度収支予算については、3月16日に開催した第612回理事会および4月13日に開催した第613回理事会において、審議の上、承認されている旨、報告があった。

第1号報告 平成30年度事業計画

議長より井上副会長が指名され、平成30年度事業計画の説明があり、了承された。

第2号報告 平成30年度収支予算

議長より西垣専務理事が指名され、平成30年度収支予算書に関し説明があり、了承された。

7. 名誉会員推挙

議長より、本会ならびにプレストレストコンクリート技術の普及と進歩発展のため、長年にわたり功績を残された方を名誉会員に推挙しているとの説明があった。本年度の候補者として石橋忠彦氏、野村貞廣氏、宮川豊章氏が披露され、総会に諮った結果、満場一致で名誉会員への推挙が承認され、宇治会長より推挙状が贈呈された。

8. プレストレストコンクリート工学会賞授与

西垣専務理事の司会で、平成29年度プレストレストコンクリート工学会賞の授与が行われた。

工学会賞の授与に先立ち、工学会賞選考委員会西山委員長から、平成29年度工学会賞選考経過の説明、受賞候補者選考理由について説明がなされた。

その後、宇治会長から次に示す各賞の贈呈が行われた。

○論文賞

該当なし

○作品賞（賞状と記念盾）

（土木部門）

● ディンブーカットハイ橋

ベトナム運輸省第2事業管理局 殿

三井住友建設(株) 殿

(株)オリエンタルコンサルタンツ 殿

パデコ 殿

日本工営(株) 殿

(株)日本構造橋梁研究所 殿

(建築部門)

- 天理駅前広場コフフン (Cofufun) 天理市 殿
(有) nendo 殿
(株)シードコンサルタント 殿
(株)安井建築設計事務所 殿
(株)北條建築構造研究所 殿
大和ハウス工業(株) 殿
(株)岡徳建設 殿
(株)ピーエス三菱 殿

- 新発田市新庁舎 新発田市 殿
ヨコミゾマコト 殿 小林 靖 殿
徳渕正毅 殿 竹内篤史 殿
入澤隆男 殿 河田善裕 殿
毛利 浩 殿

(改築・改修部門)

- 山梨文化会館 耐震改修工事 (株)山梨文化会館 殿
(株)織本構造設計 殿
三井住友建設(株) 殿

○技術開発賞 (賞状と記念盾)

- 自走式斜材点検装置 中日本高速道路(株) 殿

○施工技術賞 (賞状と記念盾)

- 中央自動車道 沢底川橋補強工事 中日本高速道路(株) 八王子支社 殿
オリエンタル白石(株) 殿

- 中国自動車道 (特定更新等) 道谷第二橋 (上り線) 床版取替工事 西日本高速道路(株) 殿
(株)ピーエス三菱 殿

- 新名神高速道路 塩川橋他1橋工事 西日本高速道路(株) 関西支社 新名神大阪西事務所 殿
(株)ピーエス三菱 大阪支店 殿

9. 受賞者代表挨拶

受賞者を代表して、作品賞については三井住友建設(株) 柳瀬 進氏、技術開発賞では中日本高速道路(株) 東京支社 大橋 岳氏、施工技術賞では中日本高速道路(株) 八王子

支社 築山有二氏からそれぞれ受賞に対する謝辞と、なお一層P C技術の啓発と発展に努力したい旨等のご挨拶があった。

10. 閉 会

西垣専務理事が閉会を宣し、第59回通常総会は滞りなく終了した。

平成30年5月25日

公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

議長・会長 宇 治 公 隆 印

署 名 人 井 上 晋 印

署 名 人 堤 忠 彦 印